

札幌市環境局環境都市推進部 発表

Press Release

○ 未来を想う
Think Green
環境首都・札幌

1. 水と森と空気から考える、未来
2. エネルギーから考える、未来
3. ごみと資源から考える、未来
4. いのちから考える、未来

発表日 2026年3月2日

札幌市次世代型太陽電池実証実験（市役所本庁舎）を開始します。

札幌市とYKK AP株式会社は、札幌市役所本庁舎において、次世代型太陽電池の実証実験を開始します。



1. 背景

札幌市は2050年のゼロカーボン達成に向け、2030年までに温室効果ガス排出量を55%削減（2016年比）する目標を掲げています。一方で、積雪寒冷地である札幌では、冬期間の積雪による発電量低下や、積雪荷重による既存建物への設置困難といった課題があり、その解決策として、軽量で壁面設置も可能な「ペロブスカイト太陽電池」や「建材一体型太陽光発電（BIPV）」等の次世代型技術が期待されています。

2. 実証実験の内容

1 目的

次世代型太陽電池の市有施設への将来的な実装を見据え、積雪寒冷地における有効性の検証を行います。また、次世代型太陽電池について広く市民の皆様にご覧いただけるよう、本庁舎での実証実験の様子を公開いたします。

2 発電データの取得期間・場所

期間：2026年3月2日（月）～2027年1月（予定）

場所：札幌市役所本庁舎（札幌市中央区北1条西2丁目、19階展望回廊 南側通路窓2面）

※展望回廊は冬季閉鎖中のため、現在は屋外側からご覧いただけません。屋外の開放は4月下旬頃から予定しています。

3 事業者

YKK AP(株) ※協力企業：西松建設(株)、(株)エネコートテクノロジーズ

4 内容

- ・次世代型太陽電池（ペロブスカイト太陽電池）を用いたBIPV内窓の発電性能の検証
- ・垂直発電の有効性や積雪反射等の影響下での発電性能の増減の検証
- ・平置き設置（既存データによる）との発電性能の差の検証
- ・市有施設への実装方法を検討し、課題抽出と対策を検討
- ・実証実験に係る広報

3. お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、下記担当までお願いいたします。

○実証実験全般に関すること

札幌市環境局環境都市推進部環境エネルギー課 樋山(はげやま)、室腰、山本

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目札幌市役所12階南

TEL:011-211-2872、FAX:011-218-5108、

Mail:kan.energy@city.sapporo.jp

※実証実験の設備（ペロブスカイト太陽電池、建材一体型太陽発電）、実験内容の詳細について

同日付け、YKK AP(株)、西松建設(株)、(株)エネコートテクノロジーズ共同ニュースリリースをご

参照ください。（URL: <https://www.ykkapglobal.com/ja/newsroom/releases/20260302>）



共同ニュースリリース